外来化学療法とは？

薬剤の開発や副作用の軽減などの医療の進歩によって、外来でも安全にがん治療を受けることができるようになりました（外来化学療法）。外来化学療法を利用することにより、患者さんは自宅で生活を送り、ご家族の援助を受けながら、がん治療を受けることが可能になりました。当院では、外来化学療法室として２席のリクライニングチェアを配置し、テレビが完備されており治療中も快適にお過ごしいただけます。（図1、２参照）。

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
2021年度	15	13	13	11	11	16	18	17	17	15	14	14
2022年度	12	14	14	12	14	14	15	14	11	13	11	11
2023年度	14	13	15	12	11	10	12	11	10	11	14	11

図1 直近３年間の外来化学療法室利用者数

図２電動リクライニングチェア

当院外来化学療法室スタッフ

当院の外来化学療法室では、専任の医師、看護師、薬剤師が勤務しており、適切で安全ながん治療の提供に努めています。

治療を受ける患者さんの看護

がん化学療法は、吐き気や気分不良などの身体症状を伴うことがあります。このような治療の副作用をできるだけ少なくするために、担当の看護師が患者さんの体調をきめ細かく観察し、できるだけ副作用が少なくなるように患者さんを援助します。また、患者さんに病気や治療法をよく理解してもらうために丁寧な説明をすることも治療の不安を和らげるために大切なことだと考えており、多職種（管理栄養士、理学療法士、ソーシャルワーカー等）からなるスタッフによるきめ細かな説明を行っております。

抗がん剤調製

がん化学療法で最高の治療成果を上げるためには正確な抗がん剤の調製が不可欠です。化学療法では、薬剤師が 2 名体制で、高い技術と最新の知識をもって正確な抗がん剤調製を日々行っています。手袋、ガウン、マスクを着用し、抗がん剤曝露を避けるとともに安全キャビネットという装置を使って無菌的な調製を行います。

薬剤師は、医師が処方した薬を調剤するだけではなく、医師や看護師と協力しながら、患者さんに正しい薬が正確に投与されるかを確認する作業を行い、患者さんが安心して治療が受けられるように最善の努力をしています。また、がん治療薬に関する新しい情報を調べ、常に質の高いがん治療法を提供できるように努力することも薬剤師の務めです。

図 3.調製室 （安全キャビネット）

外来化学療法の安全管理と緊急対応

化学療法の実施においては何よりも安全管理が重要です。外来化学療法の治療スケジュール（レジメン）は全て登録制となっており、レジメンを審査する委員会で承認を得て使用しています。登録されたレジメンは電子カルテシステムからオーダーが可能となり、抗がん剤の投与スケジュールの過誤や過量投与の防止に役立っています。実際に患者さんに投与する前には薬剤師が処方内容を二重でチェックすることで入念な確認を行っています。治療中の患者さんの状態については常に看護師が確認しています。急を要する事態が生じた場合、当院の外来化学療法室では主治医に連絡するとともに重度のアレルギーの場合、迅速かつ適切な対応が行えるよう対策しています。